

第1学年 国語科学習指導案

1年1組 計26名（男子15名 女子11名）

指導者 菊池 健一

1 単元

本とともにだちになろう（教材「ずっと、ずっと、大すきだよ」光村1年下）

2 単元について

（1）単元の価値

本学級の児童は、これまでに「おむすびころりん」や「おおきなかぶ」、「くじらぐも」の学習を通して、話の展開や内容の大体を読み取ったり、登場人物の心情や場面の様子を想像を膨らませながら読んだりする活動を行ってきた。

そこで、本単元では、愛犬と主人公の心の触れ合いを描いた物語を、友達との交流を通して読み味わい、さらには、読みたい本を見つけて紹介したり、易しい読み物を自ら選んで読んだりしようとする態度を育てることをねらいとした計画を立てた。

教材「ずっと、ずっと、大すきだよ」は、小さいころから共に育ち、成長してきた、愛犬「エルフ」と主人公「ぼく」との心の交流を中心として、そこに満ちている深い愛、命のいくつしみを描いた物語である。この時期の子どもたちは、生き物をかわいい、親しみのある存在として受け止めていることは多いが、その生死についてまでは深く考える経験をあまりしてきていない。そのため、この作品に触れること自体に意味があると考える。また、「ぼく」の思いを想像しながら読みを深めていくような挿絵も多く、自らお話の世界に浸って味わうことに適した教材である。

本単元で子どもたちは、物語のおもしろさや好きなところについて話し合ったり、紹介したりすることで、多様な意見や考えに触れ、易しい読み物を読み味わう楽しさを感じることができる。また、「ぼく」が読者に語りかけるような文章で書かれており、子どもたちが、「ぼく」になりきって物語を読み進めることで、内容を理解しやすくなり、想像を膨らませて読むことができる。さらには、動物が出てくるお話や動物と人間との触れ合いを描いた本のコーナーを教室の一角に設置し、子どもたちが自由に読むことができるような読書環境をつくることで、本に自然と親しむようになると考える。

ここでの学習は、3月教材「たぬきの糸車」の中で、この一年の読書生活を振り返り、これまで読んできたいろいろなジャンルの本の中から、お薦めの本を友達と紹介し合う学習へと発展していく。

（2）単元の目標

○読んだ本の好きなところについて意欲的に話し合ったり、進んで易しい読み物を読もうとしたりしている。

【国語への関心・意欲・態度】

○読んだ本の好きなところを友達や周囲の人々に分かりやすく紹介したり、友達の本を紹介を聞いたりすることができる。

【話す・聞く能力】

○読んだ本の好きなところや、自分が感じたことを紹介新聞に書くことができる。

【書く能力】

- 挿絵と文章を対応させながら、本の大体をとらえ、想像を広げながら読むことができる。
- 易しい読み物を読み、自分の好きなところを見つけたり、感想をもったりすることができる。

【読む能力】

(3) 子どもの実態

ア 教科全般に関する実態

本学級の児童は、これまでの学習の中で、登場人物になりきって想像を深めながら音読をして楽しんだり、読んだことを新聞にまとめたりする活動を通して、目的をもち意欲的に読むことの楽しさを味わってきている。また、学習したことを誰かに伝え、感想を交流することの喜びについても味わってきている。

毎日の宿題に、音読を取り入れることで、本を読むことの意欲が高まってきてはいるが、外国籍の児童や特別に配慮を要する児童など、あまり読書に取り組めない児童もいる。

イ 本単元の内容に関わる実態

読書については、毎週水曜日にある保護者の読み聞かせや、金曜日の全校朝読書を続けてきたことで本に親しみをもっている児童が多い。また、毎週学校図書館を活用し、読書を行っているので、学校図書館にも進んで足を運んでいる児童もいる。しかし、一人ひとりの読書量は多いが、読んでいるジャンルは図鑑やクイズ、迷路などの本を選んで読んでいる姿がみられる。自分で文章をじっくり読むことには慣れていない児童もいる。

生き物についての体験では、ペットを飼っている家庭が少なく決して多いと言えない。しかし、生活科の学習で学校の広場などにいる虫やその他の生き物とふれあう活動を行ったり、学校飼育動物であるうさぎとのふれあいも行ったりしているので、生き物についてほとんどの児童が親しみをもっている。動物とのふれあいを通して命について考えていくにはまだ難しい段階である。

3 指導にあたって

本単元の指導に当たっては、子ども一人ひとりが学ぶことを楽しむことができるよう、以下のようない点に留意して指導していく。

単元の前半では、学校図書館司書による読み聞かせを行い、動物が出てくるお話を紹介していただく。そこで、動物の出てくるお話のおもしろさを感じ、自分でも本を読み、本の好きなところを紹介する活動をしたいという意欲をもつようとする。また、これまで取り組んできた「紹介新聞」の形を生かして、今回も自分の好きな本を紹介する目的意識をもつようとする。

また、教材文を活用して、ブックトークの手法を取り入れながら、教師の読み聞かせを聞きながら、物語の先を予想したり、主人公の気持ちを考えたりする活動を行うようとする。資料として大型絵本や挿絵を活用して、児童が物語のイメージをもちやすくしていく。また、この物語の一番好きなところを紹介し合う活動を行うことで、次の自分の選んだ本の紹介をする活動につなげていきたい。

単元の後半では、図書の時間に選んでおいた、自分が紹介したい本について、紹介新聞を作成して友達や保護者の方に紹介する活動を取り入れる。

4 単元の評価規準

	国語科への 関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語についての 知識・技能・理解
言語活動例工を具体化し、「自分が紹介したいと思う本について、紹介したいことをメモにまとめたり、紹介新聞にまとめたりすること」を通した指導				
単元の評価規準	①本を紹介し合うことを楽しもうとしている。 ②友達の発表を興味をもって聞くをしている。	①登場人物のつながりに気をつけて、物語を読んでいる。 (1) ウ ②登場人物の行動について共感・反発・疑問をまとめて表している。(1) オ	①物語の内容や好きなところをワークシートや紹介新聞書いている。(1) ウ ②物語の続きを考えて書いてている。(1) ウ	①本を紹介する時に必要な言葉を理解している。(1) イ (ア)

5 指導計画（9時間扱い）

次	時	主な学習活動	学習内容	学習活動に即した評価規準[評価方法]
1	1	ししょの先生のよみきかせをきこう。 ○学校図書館司書の読み聞かせを聞く。 ○読んでもらった本の好きなところを発表し合う。 ○紹介新聞作る見通しをもつ。	・話の聞き方 ・発表の仕方 ・新聞の見方	【関】 本を紹介し合うことを楽しもうとしている。[観察・発言]
2	②	おはなしのすきなところをはなしあおう。 ○教師の読み聞かせを聞く。 ○挿絵を元に場面ごとあらすじを確認する。 ○お話の好きなところを話し合う。	・話の聞き方 ・ワークシートの書き方	【読】 登場人物のつながりに気をつけて、物語を読んでいる。(1) ウ

		<p>エルフィーとぼくはどんな人かはなしあおう。</p>		
3		<ul style="list-style-type: none"> ○エルフィーとぼくの人間関係について話し合う。 ○自分だったらどうするかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係の捉え方 ・ワークシートの書き方 	<p>【読】登場人物のつながりに気をつけて、物語を読んでいる。(1) ウ</p> <p>【読】登場人物の行動について共感・反発・疑問をまとめて表している。(1) オ</p>
4		<p>このおはなしのつづきをかんがえよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○お話の続きを考える。 ○続きのお話の絵を描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の書き方 ・ワークシートの書き方 <p>【書】物語の続きを考えて書いている。(1) ウ</p>
5		<p>このおはなしのつづきをしようかいしあおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○続きのお話を紹介し合う。 ○友達の発表について感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介の仕方 ・感想の書き方 <p>【関】友達の発表を興味をもって聞こうとしている。</p> <p>【書】物語の続きを考えて書いている。(1) ウ</p>
3	6 7	<p>じぶんがえらんだ本の「しようかいしんぶん」をかこう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介したい本について、新聞に書くことを書き出す。 ○紹介新聞を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・紹介の文 ・挿絵 ・見出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介の仕方 ・新聞記事の書き方 <p>【書】物語の内容や好きなところをワークシートや紹介新聞書いている。(1) ウ</p> <p>【言】本を紹介する時に必要な言葉を理解している。(1) イ (ア)</p>

	8	本のしようかいのれんしゅうをしよう。		<p>【関】本を紹介し合うことを楽しもうとしている。</p> <p>【書】物語の内容や好きなところをワークシートや紹介新聞書いている。(1) ウ</p>
	9	すきな本のはっぴょうかいをひらこう。		<p>【関】本を紹介し合うことを楽しもうとしている。</p> <p>友達の発表を興味をもって聞こうとしている。</p> <p>【書】物語の内容や好きなところをワークシートや紹介新聞書いている。(1) ウ</p>

5 本時の指導

(1) 目標

- ・お話の好きなことを選び、理由とともに文章に書くことができる。
- ・お話の好きなところについて、友達と話し合うことができる。

(2) 展開

学習活動	学習内容	・指導上の留意点 ○評価規準[方法]	時
1 犬を飼ったことや犬と触れ合った経験について話し合う。	○これまでの経験の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に犬を飼った経験などを聞いておき、数人の児童に発表させる。 ・犬に関する新聞記事を単元に入る前から掲示しておき、児童の興味関心を高める。 	5
	おはなしのすきなところをしようかいしよう。		
2 教師の音読を聞く。	○話の聞き方	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大絵本を活用して読み聞かせを行う。 ・音読の途中で、いくつか物語に関する質問をするようにし、児童の意欲を喚起する。 ・話が聞きやすいように机を中央に寄せる。 	10

<p>[児童への質問の例]</p> <p>□このお話はどんなお話だと思う。</p> <p>□エルフィーは太った後、どうなったと思う。</p> <p>□エルフィーが死んでしまった時、家族はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>□隣の子が子犬をもてきた時にどうしてもらわなかつたのかな。</p>			
3 お話のあらすじについて確認する。 [あらすじ] ①小さいことのぼくとエルフィー②仲の良いぼくとエルフィー③元気なエルフィーとぼくのかぞく④エルフィーの老い⑤エルフィーを獣医さんに連れていく⑥階段も上れないエルフィー⑦エルフィーの死⑧エルフィーのお墓を作る⑨隣の子が子犬を連れてくる⑩これからのはく	○お話のあらすじ	<ul style="list-style-type: none"> ・場面のイラストを示し、児童にその場面について説明させるようする。 ・イラストをバラバラにしておき、児童が並べ替えられるようにする。 ・イラストに簡単なタイトルをつけていくようする。 	10
4 お話の好きなところを選んで理由を書く。	○ワークシートの書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじのイラストから好きな場面を選ぶようにさせる。 ・普段の読書感想カードの書き方を生かして、好きな理由を書くようする。 <p>○自分が好きな場面について理由を添えて書くことができたか。[ワークシート]</p>	15
5 友達と発表し合う。	○発表の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・最初にペア同士で発表し合い、その後で全体で数名の児童に発表させる。 ・数名の児童に発表させ、それについて教師の方から質問をするようする。 ・同じ感想をもった児童にも発表させるようする。 	
6 本時のまとめをする。	○自己評価の仕方 ○感想の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・お話を読んで感想を交流したことについて感じたことを話し合う。 ・児童のがんばりを称賛し、次の活動への意欲化を図る。 	5

